

がんセンター・遺伝子診療科 公開セミナー

# 遺伝性乳がん卵巣がんのチーム医療

遺伝性腫瘍に関与する遺伝子は110以上存在すると考えられているが、actionable(有効な治療や検診などの実際的な対策がとれる)遺伝子はその1/3程度に留まると報告されている。そのactionableな遺伝子の代表がBRCA1/2である。昭和大学では、2010年にブレストセンターが設置され、本格的な遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)の診療が始まった。遺伝子の情報を臨床に直結させることを目標に、乳腺外科、産婦人科が連携し、臨床遺伝診療センターとして多職種が関わる現在の体制に至った。その経緯とその実態についても紹介したい。

よつもと じゅんこ  
講師： 四元 淳子先生

(お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 大学院人間文化創成科学研究科  
ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコース 助教)

日時： 2016年2月10日(水)17時30分～18時30分

場所： 第二中央診療棟2階 キャンサーボード



※本セミナーは山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース  
および「未来医療研究人材養成拠点形成事業」インテンシブコース  
(遺伝子医療セミナーコース)の対象となります。

共催:鳥取大学医学部附属病院 がんセンター  
次世代高度医療推進センター  
遺伝子診療科  
鳥取県がん診療連携協議会  
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

連絡・問い合わせ先:次世代高度医療推進センター  
E-mail:ngmc@med.tottori-u.ac.jp  
内線:6745

※課題解決型高度医療人材養成プログラム  
「難病克服！次世代スーパードクターの育成」の支援を受けて実施しています。

